

# 区政のここをきく



(一般質問要旨) \* 6月23日・24日の本会議にて、一般質問が行われました。  
\* 二次元コードから一般質問の動画が視聴できます。

**問** = 議員からの質問    **答** = 区からの答弁    **その他** = その他の質問項目



**茂木 弘**

(自民党)



## ■ 学校建て替えに伴う課題について

**問** 学校の建替えに伴い、体育館や校庭等の利用や生涯学習センターを利用している団体の活動場所の確保については、区の責任で探すべきである。工事手法を工夫し、利用者が校庭や体育館を利用できるよう検討すべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 利用者や学校と意見交換をし、利用者の活動場所の確保、手続きの簡素化、運用の統一化、既存と新規の団体との調和等、公平で効率的な仕組みを構築し、地域の拠点として愛される場となるよう検討を進める。

**問** 生涯学習センターは多くの場所が区民の活動場所となっている。事業の内容によっては、複数の場所を使用して大規模なイベント等の事業を行うこともあり、そのような団体が引き続き円滑に事業を実施できるよう、配慮すべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 生涯学習センターの機能の移転後も、各利用団体が引き続きイベントを開催することができるよう、新たな施設の活動スペースに加え、校庭や体育館をあわせて使用することについて、調整を進めていく。

## ■ 外郭団体の全体の見直しについて

**問** 現在の外郭団体にはそれぞれ改善すべき課題がある。経費節減の努力や区からの補助金に頼らない団体運営及び自主事業による収入の確保、外部業者との連携、存在意義等について、課題の中には結論を出すべきものもあると考えるが、区の見解を問う。

**答** 外郭団体の課題と今後について、プロジェクトチームによる検討を進め、より効果的・効率的な取り組みに繋げるとともに、自主財源の拡大や質の高いサービスの提供に向けた取り組みについても支援していく。

**問** 新庁舎整備の際には、外郭団体を新庁舎に配置することで、庁内の連携強化や区民の利便性向上、重複する事業見直しができる。また、区が目が届くことで、団体の改革が進むことにもつながると考えるが、区の見解を問う。

**答** 外郭団体を庁舎内に配置することについては、新庁舎に必要な機能の選定や配置計画を検討していく中で、必要性や庁舎全体の機能配置とのバランスを総合的に勘案し、様々な可能性を探りながら検討していく。

**その他** ○障がい者支援について  
○質の高い行政サービスを担う人材の確保  
○三河島、西日暮里の再開発について



### 大月 健弘

(ゆいの会(都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属))



#### ■ スタートアップを含むすべての企業の持続的な成長支援について

問

区は創業後支援の強化や大学・金融機関とのネットワーク形成を進める方針を示しているが、スタートアップ・既存企業の継続的な成長支援についての区の考えを問う。

答

起業支援から成長支援、既存企業の持続的発展までを一体的に支え、「スタートアップも、地域企業も、あらゆる企業が持続して成長できる街」となるよう取り組んでいく。

#### ■ DX推進に関わる進捗確認とシステムセキュリティ向上について

問

脆弱性を見つける能力が非常に長けているAIモデル「クロード・ミユトス」に対する区の認識と、システムセキュリティ対策強化のための調査について、区の見解を問う。

答

サイバー攻撃の脅威に対し、ソフト・ハード両面の対策を強化しており、今後も常に最新の情勢を踏まえたセキュリティ対策を実施し、信頼されるシステム管理に努めていく。

その他

○あらかわ遊園収支改善に向けたロイヤリティ(固定客)向上及び包括監査報告に対応した施策について



### 菊地 秀信

(公明党)



#### ■ 私立学校に通う児童生徒への給食費相当支援について

問

子どもに関する支援は学校種別ではなく、子どもに着目して行われるべきであるが、私立学校等の児童生徒が給食費無償化の対象外である現状について、区の認識を問う。

答

私立学校への進学は、各家庭の価値観等を踏まえた選択で、区立小中学校とは保護者負担のあり方も異なるため、支援の範囲は様々な視点から慎重な検討が必要と考えている。

#### ■ 子どもプール跡地の活用に伴う地元商店街への支援について

問

あらかわ遊園スポーツハウス増築工事に伴い、地域団体や商店街が主体的に取り組むイベントや活動を継続・発展できるように、どのように支援を行うか、区の見解を問う。

答

荒川遊園の有料エリア内を活用いただけるようにし、園内で大型イベント等を実施する際には、可能な限り商店街や地域団体の皆様にお声がけを行い、地域活動を後押しする。

その他

○物価高騰対策と区民生活支援  
○ユニセフ「子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)」への参加  
○荒川遊園の収支改善と区民サービスの向上



北村 綾子

(共産党)



## ■ 子育て世帯、子どもと若者への支援について

問

長期休業期間中、学童クラブで手配される昼食の単価を抑えるため、事業者に対し助成を行い養育者の負担を軽減し、学童クラブを利用しない子どもにも昼食を提供すること。

答

弁当宅配は学童クラブを利用する保護者の負担軽減を目的とし、利用しない児童への実施は想定していない。費用負担軽減については、所得等に応じた減免措置を行っている。

問

高等学校、高等専門学校の進学予定者に向けた荒川区奨学資金と同等かそれ以上の支援を大学や専門学校などの高等教育を受ける方々にも行うこと。また、金利が上がる中での奨学金の返済に苦しむ若者向けに支援を行うことを求める。

答

高等教育への支援については国の動向を注視し、支援策について調査研究を進める。若い世代に対する奨学金返済の支援については、国に対して要望しているところであり、引き続き国に対応を求めていく。

その他

- 続く物価高騰から区民と区内事業者を守るために
- 健康で文化的に住まう権利の保障について



鬼頭 あきゆき

(立憲民主党)



## ■ ごみ集積場の散乱について

問

地域住民の生活に最も身近な公共空間の一つであるごみ集積所を清潔で快適な環境に維持し、地域の負担を軽減していくためにカラス被害対策のさらなる充実が必要と考えるが、区の見解を問う。

答

これまでのカラス対策を継続しつつ、被害の減少を図るため、今後も他自治体などの対策を参考に研究を重ね、地域と連携しながら集積所の環境衛生の向上に努める。

## ■ デジタルお買い物券について

問

デジタルお買い物券の導入にあたり、デジタルに不慣れな方々へのフォローアップ体制、来年度以降の事業継続、また、デジタルに対応したお店を増やすための対策について区のを問う。

答

デジタルに不慣れな方々へのフォローアップ体制の構築に努め、事業効果や課題検証により来年度以降の継続に向けて検討する。また、関係団体と連携し、区のデジタル化推進に努める。

その他

- 若者の町会加入について



**鎌田 理光**

(自民党)



### ■ 教育施策について

**問**

特別な支援を必要とする児童生徒の数は年々増加しており、自閉症・情緒障がい特別支援学級を区独自に設置することの必要性和緊急性が年々高まっていると考えるが、設置についての具体的な検討状況と開設に向けた見通しについて、区の見解を問う。

**答**

現在、自閉症・情緒障がい学級の開設に向け、教室の確保、具体的な仕組みづくり、先進自治体の事例を踏まえた研究を進めており、今後は、ソフト・ハード両面を整え、3年以内の学級設置・開設を目指す。

**問**

災害時における児童生徒の安全確保と保護者の負担軽減の観点から、今後の台風等の接近時においては、より早期の段階で判断を行う仕組みへと改めるべきであり、その際はオンライン授業を積極的に実施すべきと考えるが、区の見解を問う。

**答**

気象情報、鉄道状況、保護者の就業環境や学童クラブ運営事業者への影響なども考慮し、前日までに判断することを原則に検討を進め、休業の際のオンライン授業の実施体制を整え、学びの環境を保障する。

### ■ 更なるごみの減量について

**問**

昨年10月から始まったプラスチック回収について、この間のプラスチック回収量やごみ減量効果、課題を確認するとともに、今後のプラスチック回収の更なる推進についてどのように取り組んでいくのかを問う。一方、「雑がみ」の分別はうまくいっていない印象があり、「雑がみ」がリサイクル可能な古紙ではなく可燃ごみとして出されてしまう大きな理由の一つが、分別のわかりにくさにあると思われるため、今後は更なる周知啓発に力を入れるべきと考えるが、区の見解を問う。

**答**

プラスチック回収によるごみ減量効果については、前年度比で可燃ごみ量が約7%の減量につながった一方で、資源化可能なプラスチックが可燃ごみの中に依然として多く混入していたことから、引き続きわかりやすい分別方法の周知や啓発を行っていく必要がある。「雑がみ」についても、混入が非常に多い資源物であるため、リサイクル可能な資源であることや、その具体的な種類や分別方法について改めて認識してもらい、分別に取り組んでいただくための効果的な施策を様々な手法により講じていく。

**その他**

- 外国人の子供を含む児童の安全確認調査について
- 防災施策について
- 自転車の青切符の開始に伴う状況と今後の対策について



## 清水 啓史

(ゆいの会 (都民ファースト・  
国民民主・あたらしい党・無所属))



### ■ 教育立区 荒川区について

問

「教育立区荒川区」を掲げ、教育環境の充実や学力の向上に向けて取り組むこと、あわせて区のイメージアップにつながるよう、発信していくことについて区の見解を問う。

答

今後は学校の建替えに合わせて教育環境や教育の質が更に向上するよう取り組むとともに、区の魅力となる「教育の荒川区」をシティプロモーションとして広く発信していく。

### ■ 補助90号線計画(※)を軸にした、エリアとしての整備について

問

補助90号線計画は、明治通りから町屋駅前までを一帯としたエリアの視点・認識を持って整備すべきと考えるが、区の見解を問う。

答

補助90号線やこれに沿った緑道、及び両側の荒川自然公園やゆいの森などを面的に捉え、地域全体の魅力向上に資する、トータルデザインされた街づくりを進めていく。

(※) 補助90号線：現在整備中の都市計画道路。明治通りからサンパール荒川、自然公園、ゆいの森を経由して町屋駅前を通過する。

その他

○マンション管理組合への支援について



## 松田 智子

(公明党)



### ■ 雨水の利用促進策

問

学校の建替えや区役所新庁舎の整備にあたり、他自治体の先行事例を参考に水資源の有効利用を図り、雨水を災害時のトイレ洗浄水や生活用水に活用する施設を設置すべきと考えるが、区の見解を問う。

答

今後の新庁舎整備や、学校建替えに際し、平時や災害時の雨水の活用方法を想定しながら、施設ごとの必要量や費用対効果などについて検証を行い、調査研究を進めていく。

### ■ リンパ浮腫治療の充実

問

ガンの治療後に発症する「続発性リンパ浮腫」について、理解促進及び区の購入費助成制度の広報活動と区内医療機関に対してリンパ浮腫患者を受け入れてもらうよう働きかけを行うことを求める。

答

ホームページやがんに関する講演会等、様々な機会を捉えて理解促進に努め、今後の医療提供体制の動向を注視しつつ、医師会を通して区内医療機関へ働きかけを行っていく。

その他

○区内中小企業・事業者等への中小企業診断士等による巡回相談の実施



相馬 ゆうこ

(共産党)



### ■ 区内産業を支え発展させるため平和主義をつらぬく区長の決意を問う

問

戦争できる国づくりが進む中、平和都市を宣言している自治体として、区内産業の発展を支えていく上で、憲法に基づいた平和主義を貫く決意を述べることを求める。

答

安定した経済活動や活力あるまちづくりは、平和な生活の下に成り立ち、「平和都市宣言」「人権推進指針」に基づき、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を進めていく。

### ■ 安心・安全の教育環境の整備として名前のゼッケンの見直しを求める

問

防犯の観点から、学校の体操着や水着の名前のゼッケンについては不安の声が寄せられており、ゼッケンが本当に必要か現場の意見を聞き、見直しの検討をすることを求める。

答

名札等の着用によるリスクを低減するための見直しがされている一方、名札等には教育活動上の必要性もあり、運用の実態を精査し、どのような工夫が可能か研究していく。

その他

○住民自治、団体自治にもとづき、マイナンバーカードの運用見直しを



## ライブ配信もあります！

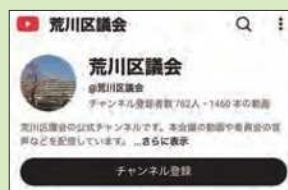
本会議及び委員会の音声をYouTubeでライブ配信しています。

視聴方法

- ・STEP 1 会議当日、荒川区議会YouTubeチャンネルにアクセスしてください。
- ・STEP 2 「ライブ」の表示が出ている動画を選択してください。
- ・STEP 3 会議の開始時刻から音声流れます。

※荒川区議会YouTubeチャンネルは、表紙の二次元コードからアクセス可能です。

※同YouTubeチャンネル及び荒川区議会ホームページでは、過去の会議の映像や音声も視聴することができます。



▲荒川区議会YouTubeチャンネル



## 宮本 舜馬

(ゆいの会(都民ファースト・  
国民民主・あたらしい党・無所属))



### ■ 荒川区の子育て支援政策は何を目指すのか

問

荒川区が子育て世代から選ばれていくためには、需要に裏付けられた攻めの政策展開が必要である。区は子育てナンバーワンを目指すのか、あるいは、オンリーワンとして何かに特化するのか、子育て支援政策で何を目指すのか、区の見解を問う。

答

すべての子どもが健やかに成長できる環境を整え、保護者が安心して子どもを産み育てられる社会を築くことが区の責務であり、子どもの笑顔と家庭の安心を生み出すことを目指し、施策の充実に努めていく。

問

待機児童の発生を防ぐための対応が不十分であり、待機児童が増える形で発生しているのが現状である。区では、待機児童の発生についてどのように考え、解消に向け、定員拡大や移動支援なども含めた検討状況について具体的な見解を問う。

答

送迎バス等による移動支援は、実施において課題があると認識している。待機児童解消に向け、認証保育所や保育ママ等を積極的に周知するとともに、定員を増やすための施策を多角的・具体的に検討している。

問

育児休業給付金の支払いが遅れ、子育てでお金が必要なタイミングに、貯金を切り崩すという不安な生活を強いられるケースが増えていることが社会問題化している。そこで、区が給付金を立て替えて支給することを提案するが、区の見解を問う。

答

育児休業給付金の支給に係る事務や財源は、国の責任において運営されているため、区の立て替え支給は制度上困難であると認識しており、ご相談を受けた場合にも各ご家庭の状況に寄り添い対応していく。

### ■ 家庭ごみの有料化について

問

家庭ごみ有料化については、区民への説明と現状の確認・整理が必要である。ごみの処理は、現在も区民がそのコストを負担しているが、有料化における区民のメリットとデメリット、有料化した場合に増えるコストについて、区の見解を問う。

答

家庭ごみの有料化は23区で足並みを揃えるべき課題として特別区長会で検証委員会を設置し検討を行っている。ごみの減量等が図られる一方、区民負担が生じるなど様々な課題があるため、コストも含め今後検討を深めていく。

その他

- 動物関係について
- 路上喫煙対策について
- 再開発について
- 路上駐車について



**森本 達夫**

(公明党)



### ■ 学力向上を支える「読解力」の強化

**問**

学力向上を図る上で、読解力は不可欠な要素であり、読解力の健康診断という新たな視点を教育施策に取り入れ、読解力の強化を図るべきと考えるが、区の見解を問う。

**答**

第五中学校でリーディングスキルテストを取り入れた取り組みを進めており、今後、効果や課題の検証、指導法や成果事例をモデルケースとして他校へ情報共有しながら、調査研究を進める。

### ■ 花と緑の整備

**問**

都電とバラという魅力的な資源を活かし、現在の「バラの市」を起点とした、数日から数週間にわたる区民参加型の「バラフェスティバル」への拡充を提案するが、区の見解を問う。

**答**

「あらかわバラの市」を中心に、関係行事との連動やPRを強化することで、観光資源としての付加価値の向上と地域活性化に向けて、関係団体等と緊密に連携しながら取り組んでいく。

**その他**

○ラングウッド地下二階の有効活用



**増田 峰子**

(公明党)



### ■ 若者支援について

**問**

子ども・若者課が創設されたことは、区が若者支援の充実に向けて大きく一步を踏み出したものとして高く評価するが、その役割と重要性について、区の見解を問う。

**答**

子ども・若者課では、若者を取り巻く環境変化や新たなニーズを丁寧に把握し、様々な社会資源を子どもから若者への成長過程における個々の状況に応じて組み合わせ、支援に繋げていく。

### ■ 公衆浴場への経営支援対策について

**問**

原油価格の上昇や物価高騰の長期化により中小企業が厳しい状況にある中、地域に欠かすことのできない公衆浴場に対し、実態をふまえたエネルギー費支援の補助拡充の検討を求める。

**答**

設備改善補助金及び燃料費の補助を中心とした支援を行い、今後も安定して事業が継続できるよう、燃料価格の推移等を把握し、公衆浴場組合の意向も踏まえながら、対応していく。

**その他**

○猛暑対策について